

西彼保健所感染症情報

令和8年 第 19 週 令和8年5月4日 ~ 令和8年5月10日

全数把握対象感染症 発生状況

※西彼保健所感染症情報の全数報告数は報告の週で掲載しています
(県感染症情報速報は診断の週で掲載していますので数が一致しない場合があります)

| | |
|-------|------|
| 一類感染症 | 報告なし |
| 二類感染症 | 報告なし |
| 三類感染症 | 報告なし |
| 四類感染症 | 報告なし |
| 五類感染症 | 報告なし |

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加↑↑;2週連続増加↑↑↑;急増

| 疾病名 | 週別 発生状況 | | 基準値 | | | 疾病名 | 週別 発生状況 | | 基準値 | | |
|----------------|---------|---------|-------|----|--------|-----------------|---------|------|-------|-----|--------|
| | 18 週 | 19 週 | 警報レベル | | 注意報レベル | | 18 週 | 19 週 | 警報レベル | | 注意報レベル |
| | | | 開始 | 終息 | | | | | 開始 | 終息 | |
| インフルエンザ | 0.2 | 0.2 | 30 | 10 | 10 | 突発性発しん | 0.67 ↑ | 0.00 | / | / | / |
| COVID-19 | 0.00 | 0.00 | / | / | / | ヘルパンギーナ | 0.00 | 0.00 | 6 | 2 | / |
| 急性呼吸器感染症 (ARI) | 76.0 ↑↑ | 48.8 | / | / | / | 流行性耳下腺炎 | 0.00 | 0.00 | 6 | 2 | 3 |
| R S ウイルス感染症 | 2.67 ↑↑ | 0.00 | / | / | / | 急性出血性結膜炎 | 0.00 | 0.00 | 1 | 0.1 | / |
| 咽頭結膜熱 | 0.67 | 0.67 | 3 | 1 | / | 流行性角結膜炎 | 2.00 | 1.00 | 8 | 4 | / |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 3.00 | 3.00 | 8 | 4 | / | 細菌性髄膜炎 | 0.00 | 0.00 | / | / | / |
| 感染性胃腸炎 | 7.33 ↑ | 4.00 | 20 | 12 | / | 無菌性髄膜炎 | 0.00 | 0.00 | / | / | / |
| 水痘 | - | 0.00 | 2 | 1 | 1 | マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 0.00 | / | / | / |
| 手足口病 | 1.00 ↑↑ | 2.00 ↑↑ | 5 | 2 | / | クラミジア肺炎 | 0.00 | 0.00 | / | / | / |
| 伝染性紅斑 (リンゴ病) | 0.67 ↑↑ | 0.00 | 2 | 1 | / | 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) | 0.00 | 0.00 | / | / | / |

トピックス・季節情報

手足口病が増加しています

手足口病は、その名の通り四肢および口腔内に水疱性の発疹を主症状とする急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に例年、主に夏季に流行します。

好発年齢は幼児期から学童期にかけてですが、大人でも感染する可能性があります。

不顕性感染例も存在し、基本的には数日の内に治癒する予後良好の疾患ですが、まれに小脳失調症、髄膜炎、脳炎などの中枢神経系の合併症を起こすことがあります。

【感染経路】は主に咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。

【原因となるウイルス】主にコクサッキーウイルスA6、A16、エンテロウイルス71 (EV71)で、その他、コクサッキーウイルスA10などが原因になることもあります。

一度、手足口病を発病すると、その病因ウイルスに対する免疫は成立しますが、他のウイルスによる手足口病を起こすことは免れません。

【予防】アルコール消毒剤が効きにくいので、こまめな手洗いが重要ですので、手洗いは流水と石けんで十分に行いましょう。また、タオルの共用は避けましょう。

